

地域共創の取り組み

西日本高速道路株式会社

はじめに

NEXCO 西日本は、多様化の進む様々な地域課題に対し、当社と地域、お互いが汗をかきながら相互にリソースを活かし合い課題解決を目指すことで、持続可能な地域づくり（＝地域の成長）にチャレンジする『地域共創』活動を2019年から行っています。この活動により、高速道路の持つ機能やサービスを活用し地域の新しい魅力を作り続ける「地域づくりのプラットフォーマー」を目指し、地域の新たな魅力づくりに挑戦しています。

本冊子への寄稿にあたり地域共創の取り組みについて、その一部をご紹介します。

1 関西支社の取り組み

■うめルカム to みなべ町 みなべ町へちよこっと寄り道キャンペーン

(1) みなべ町との地域共創活動

みなべ町は、和歌山県の紀伊半島南部に位置し、「南高梅」の誕生の地で、持続可能な梅を中心とする「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定されている日本一の梅の産地です。しかし、近年では他産地の台頭や廉価な輸入品の増大、消費量の伸び悩みなどにより、需要は頭打ちの傾向です。みなべ町では町をあげて梅の消費拡大に取り組まれており、イメージ戦略の展開や新たな製品の開発、海外進出など多面的な取り組みに加え、みなべ町への誘客に力を入れています。

こうした地域の課題を解決するため、みなべ町とNEXCO西日本が互いに協力し双方のリソースを有効活用することとしました。具体には、大阪方面から和歌山県に向かう道中にあるE26阪和自動車道岸和田サービスエリア（SA）（下り線）のスペースをみなべ町に提供し、旅っチャ（詳細は2.①）の販売及び南高梅干し味比べ（試食）キャンペーンを開催し、産業・観光振興等による地域社会の活性化と高速道路の新たな体験価値の創出に取り組んでいます。

(2) キャンペーン概要

令和5年度から今年度で3回目のキャンペーンを開催しています。

R5年度

概要

- ・10月の5日間限定で岸和田SA①屋外スペースにて開催。
- ・旅っチャ販売、梅干しの味比べ、ETCイベントを実施。

R6年度

概要

- ・7月の12日間で岸和田SA①屋外スペースにて開催。
- ・旅っチャ販売、梅干しの味比べ、ETCイベントを実施。

改善点

- ・関西屈指の観光地である白浜への観光客をターゲットに海水浴シーズンに開催

R7年度

概要

- ・7月～10月で岸和田SA①屋内にて開催（一部屋外）。
- ・旅っチャ販売、梅干しの味比べ（10月のみ）、ETCイベント（10月のみ）を実施。

改善点

- ・海水浴シーズンに実施するため、暑さ対策として、屋内で旅っチャを販売。
- ・屋外イベントは気候が良い10月に実施

● R7年度の取り組み

① みなべ旅っチャ

小型チケット販売機で『旅っチャカプセル』を販売し、カプセルの中には、みなべ町内の飲食店やお土産購入等で使える『うめルカム to みなべ町クーポン券』が1等で3,000円分、2等で2,000円分、3等（末等）で1,000円分と必ず購入金額500円を上回るクーポン券が入っています。

- ・開催期間：令和7年7月12日から10月25日まで
- ・開催場所：E26 阪和自動車道 岸和田 SA（下り線）
- ・販売本数：3,000本



② 南高梅干し味くらべ

生産量日本一を誇るみなべ町の南高梅をはちみつ、とまと、みかんなどで漬けた10種類の南高梅干しの中から、お好みの味を試食いただけるみなべ町うめ課スタッフによるPRイベントを開催します。

開催期間：令和7年10月4日、11日、12日、18日、25日（5日間）

開催場所：E26 阪和自動車道 岸和田 SA（下り線）



③ ETC 利用でお得なクーポン

②の開催期間中に E42 阪和自動車道 みなべインターチェンジの出口を ETC 無線走行された方に、『うめルカム to みなべ町クーポン券』1,000円分をお渡しします。

受取場所：道の駅うめ振興館

配布数量：各日先着20名限定

④ 出張梅干し屋

帰省のお土産に最高級の南高梅干しの直売会を開催します。

開催日：令和7年12月27日

開催場所：E1A 新名神高速道路 宝塚北 SA

(3) 本キャンペーンを通じて

みなべ町からは、多くの方に最高級梅干しや地域食材を知っていただく良い機会となり、成果の見えた取り組みとして評価いただいています。また、販売したクーポンは9割以上が使用され、特に土産店の売り上げアップに寄与するなど誘客効果も確認されました。引き続き遊び心ある企画でクルマ旅を楽しんでいただき、地域の魅力発信に貢献してまいります。

2 中国支社の取り組み

■「鬼うま！キャンペーン もも・ぶどう編」

(1) 岡山市・JA 岡山との地域共創活動

岡山市・JA 岡山は『岡山市の特産物であるぶどう・もものPRとその消費拡大』に取り組まれています。そこで、当社が実施している『旅っチャ』を活用し、昨年度において、1日だけの試行を実施したところ、岡山市様においても手応えを感じていただける結果となり、R7年度においては、昨年度より規模を拡大し、実施エリアを2箇所を増やすとともに、長期間のイベントとして実施に至ったところです。なお、中国支社管内での「旅っチャ」の本格実施は今回が初めてとなります。

(2) キャンペーン概要

令和6年度の試行実施は、E2 山陽自動車道 三木SA（下り線）において、テントブースを設けぶどうの試食配布と岡山市内のJA 直営店で使用できる旅っチャ（クーポン券入りガチャ）の販売を実施しました。R7年度は中国地区にある E2 山陽自動車道 福山SA 上り線も対象に加え、本格的に実施する運びとなりました。



【実施概要】「鬼うま！キャンペーン もも・ぶどう編」

・開催期間：令和7年7月19日（土曜）～8月17日（日曜）

※「旅っチャカプセル」がなくなり次第終了。

・開催場所：E2 山陽自動車道 三木SA（下り線）及び福山SA（上り線） 店内

・販売本数1等：3,000円分 2等：2,000円分 末等：1,000円分 合計600本

※上記SAに設置されている「旅っチャ」で「旅っチャカプセル」を販売（1回500円）。カプセルにはJA岡山直売所3店舗で使える『鬼うま！キャンペーンクーポン券』が入っています。



3 四国支社の取り組み

■ 「AR de 周遊！伊予 Love キャンペーン」

(1) 愛媛県伊予市との地域共創活動

令和3年6月に「伊予市と西日本高速道路株式会社四国支社との観光振興に関する連携協定書」を締結し、令和3年度より毎年度、観光誘客キャンペーンを連携して実施しております。令和6年度については伊予市内への観光誘客及び周遊促進、地場産品の振興を図ることを目的に「AR de 周遊！伊予 Love キャンペーン」を実施しました。

今回のキャンペーンは、伊予市内の観光施設及び道の駅（計5箇所）に用意されたARコンテンツを体験しながら周遊するデジタルスタンプラリーを開催。すべてのスポットでスタンプを集めた参加者に抽選で30名様に伊予市の特産品をプレゼントする内容です。本キャンペーンでは、「恋人の聖地」にも認定されている「ふたみシーサイド公園（道の駅ふたみ）」や「伊予灘サービスエリア」、そば打ち体験や栗ソフトクリームが人気の「なかやまクラフトの里（道の駅なかやま）」など、伊予市内の魅力あふれる観光施設及び道の駅全5箇所を対象スポットとして選定しました。



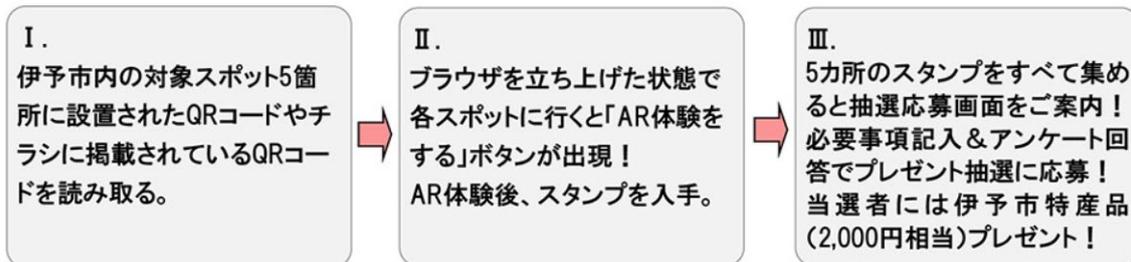
(2) キャンペーン概要：

AR de 周遊！伊予 Love キャンペーン

- ・開催期間：令和7年2月1日（土曜）～3月9日（日曜）
- ・対象スポット：伊予市内の観光施設及び道の駅 5箇所

 <p>①E56松山自動車道 伊予灘サービスエリア(上り線または下り線) ※上り線と下り線どちらか1箇所周遊でスタンプ獲得となります。 https://iyokankou.jp/spot/spot-370/ 【一般道からも直接ご利用できます。】</p>	 <p>②手作り交流市場 町家 https://iyokankou.jp/spot/spot-1298/</p>	
 <p>③ウェルビア伊予 https://iyokankou.jp/spot/spot-827/</p>	 <p>④ふたみシーサイド公園 「道の駅ふたみ」 https://iyokankou.jp/spot/spot-1869/</p>	 <p>⑤なかやまクラブの里 「道の駅なかやま」 https://iyokankou.jp/spot/spot-1292/</p>

●参加方法：



4 九州支社の取り組み

■長崎県東彼杵町との地域共創

(1) 概要

令和6年4月にE34長崎自動車道・大村湾PA（上り線）がリニューアルオープンすることを契機として、長崎県東彼杵町と「地域創生等のプロジェクト連携」を締結しました。地域住民の方々の知恵をお借りしながら、同PAが人と地域をつなぐ場所となるよう、PA（休憩施設）を起点とした“町民主体のまちづくり”を推進しています。



東彼杵町長（左）と NEXCO 西日本九州支社長（右）との締結式



大村湾 PA（上り線）展望テラス「青い庭」(※ 1)

(※ 1) 「青い庭」という名称は、「地域と町民をつなぎ育むランドマークをめざす」意図から、公募により決定（町内の方々を中心に応募総数 288 通）

(2) プロジェクトについて

第一弾として、町の地域資源「そのぎ茶」の魅力を伝える地域創生プロジェクトを始動しました。

リビングラボの手法を用いて、町民や地元企業、学生らがワークショップなどを開催し、町の魅力を体現する 8 種類のそのぎ茶のアレンジドリンクを開発。開発した商品を「東そのぎリヤカー商店街」とネーミングした、リヤカーでの販売を通じて、東彼杵ならではの“おもてなし”を届けるものです。町民主体で商品開発に取り組むことで、町への関心を高めるだけでなく、町民同士のつながりを深めるきっかけとなっています。





ワークショップの様子



シンボリックなりヤカーも参加者で手作り



開発したアレンジドリンク



ロゴも開発



令和7年5月17日(土曜) 大村湾PA(上り線)にて、無事にオープンしました!



(3) 今後について(町民主体へ)

町民主体のまちづくりへの発展に向け、令和7年6月27(金曜)「東そのぎりヤカー商店街協議会」(※2)を発足。今後、大村湾PA等でのリヤカー商店街の出店等の企画、調整、販売等を町民主体で行っていきます。(「東そのぎりヤカー商店街」の情報はInstagramで発信)

(※2)「東そのぎりヤカー商店街協議会」とは、大村湾PAを拠点として、東彼杵町の交流人口・関係人口の拡大を通じて、町の知名度向上や産業振興を図ることを目的に、令和6年に実施した“まちづくりワークショップ”で生まれた繋がりを活かし、より一丸となって、まちのための新たな価値創造を進めるための任意団体



東そのぎリヤカー商店街協議会設立総会の様子

Instagramはこちら



5 おわりに

今回は地域共創活動について、各支社の取り組みを中心にその一部をご紹介いたしました。

キャンペーン等に参画いただきました自治体様や地域の事業者様からは、多くの方々に地域の魅力・地域食材などを知っていただくとともに、実際に現地へ訪れていただくとても良い機会になったと喜びの声をいただいております。また当社といたしましても、地域共創活動においてSA・PAが大きな役割を果たすとともに地域の魅力の一部であるということを再認識いたしました。

NEXCO 西日本は、高速道路×地域共創は多くの可能性があると考えており、これからも引き続き自治体様や地域の事業者様と様々な課題に取り組むとともに、地域共創の輪を広げ、地域の魅力向上、情報発信、交流人口の拡大など、地域の価値を高めるための持続可能な取り組みとなるよう活動を進めてまいります。

以上